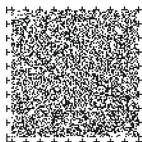


こんなこと、気になりませんか？



こんなことをしてみても
どうでしょう。

やっぱり、
ちょっと
気になる…。



おうちの中で…

- 自分で着替えができない。服の前後や下着が出ていても恥ずかしくない。
- 偏食がありすぎる。決まったものしか食べない。
- スーパーなどでは、一人で走って行ってしまったり戻ってこない。
- 同じあそびばかり（ミニカーや積み木を一列に並べたり、換気扇やタイヤなど回転する物をじっと見ている等）を繰り返す、なかなかやめられない。
- ゲームに極端に集中してやめさせられない等、親の話を受け入れられない。
- 予定が急に変わると不安になったり怒り出したりする。



集団の中で…

- 落ち着くことができなくて、ケガが多い。
- 大事な話をよく聞き逃す。
- 極端に苦手な運動（ボール遊び、なわとび、自転車、ブランコ、すべり台等）がある。
- 友達と遊ばずに一人遊びに熱中する。同年齢ではなく、大人や年下と遊ぶことを好む。
- 自分の持ち物を管理できない。忘れ物が多く、片づけが苦手。
- 友達とのトラブルが多い。勝ち負けにこだわる。順番を守らない。
- 何でもないようなこと（太鼓の音、粘土や糊で手が汚れること等）を極端に嫌がる。
- 知らない人にでも一方的に話しかける。

お子さんの『できないこと』ばかりに目がいてしまい、むやみに叱っていませんか？

- ささいな事でも『いいところ』を見つけて自信をつけさせてあげましょう。
- できなかったことが少しでもできるようになったら、たくさん褒めてあげましょう。
- 「いい子ね」だけでなく、『貸して』って言えていい子ね』等、具体的に褒めましょう。
- 「～してはだめ！」ばかりではなく、「～しようね」と肯定的な言い方をしてみましょう。
- 「恥ずかしいからやめなさい！」ではなく、「(床に寝転がらないで)座って待とうね」等、具体的に注意しましょう。

周りの子が普通にできるようなことができなかつたり、みんなと同じようにやろうとしない…。

もちろん、すべてのお子さんがみんなと同じように何でもできるわけではありません。でも、できないことの原因の一つとして、発達障害（広汎性発達障害・注意欠陥多動性障害・学習障害）が関係していることがあります。しつけの問題やわがままではありません。このようなお子さんは、誰でもできると思われることができなくて自信をなくしたり、周りの大人や友達にふざけていると誤解されて悲しい思いをします。お子さんに応じた支援があれば、本人も自信を持って生活していけるのです。

どんな支援が必要なのか…。まずは、ひとりで悩まず相談してみませんか？